

浜田ダムだより

第 8 号
平成21年1月
浜田ダム管理所
浜田市河内町3222-4

平成20年の洪水期（6月16日から9月30日まで）を振り返って

浜田ダムでは、1年を洪水期（6月16日～9月30日）と非洪水期（10月1日～6月15日）に分けてダムを管理しています。特に洪水期は、梅雨の長雨や台風の上陸などにより大雨になることが多く、ダムから放流することがあるのもほとんどがこの時期です。

平成20年の洪水期は、雨が少なかったこともあり無事終了しました。浜田川下流にお住まいの方々や浜田川を利用する方々におかれましては、ダムの管理にご協力頂き、誠にありがとうございました。これからは、浜田ダムのもう一つの役割でもある『発電』に使うための水をためます。

では、今年の洪水期を少し振り返ってみたいと思います。

1) 少なかった雨

毎年7月には梅雨前線によるまとまった雨が観測されます。グラフを見ても分かる通り、平成20年は大変少なく、過去10年の平均降水量に比べても約30%ほどしか雨は降っていません。

このこともあり、今年放流を行ったのは1回（例年は2～3回）だけでした。

【近年の放流回数】	平成17年	2回
	平成18年	4回
	平成19年	3回

2) つよい雨

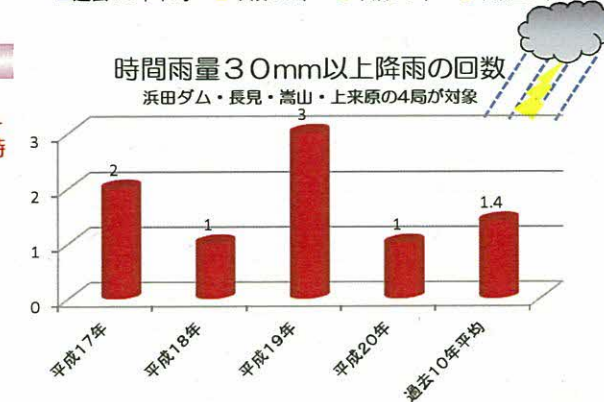
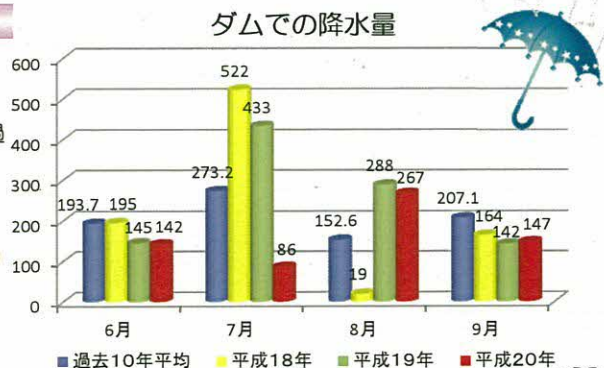
右のグラフを見ると、つよい雨はあまりないように思えます。しかし、8月14日の雨（浜田地区大雨警報発表）では時間雨量49mm（浜田ダム局と長見局）を観測しました。また、同じ1回の平成18年7月には、時間雨量50mm以上の大変つよい雨を観測しています。昨年全国的に話題になった『ゲリラ豪雨』は近年増加傾向にあります。

※ゲリラ豪雨…予測が難しく狭い地域で短時間にまとめて強く降る集中豪雨のこと
昨年7月の東京都の下水道工事事故や神戸市都賀（とが）川水難事故の原因となる

『いつ』、『どこで』起こるか分からない『ゲリラ豪雨』から身を守るには、『日頃から身近な危険を察知（意識）する』ことが重要です。

【過去の災害と時間最大雨量】

- ・昭和58年（時間最大 71mm：嵩山）
- ・昭和63年（時間最大117mm：嵩山）
- ・平成10年（時間最大 75mm：上来原）
- ・平成18年（時間最大 58mm：長見）



3) 思わぬ出来事

平成20年も浜田ダムの貯水池にアオコが発生しました。アオコの発生が確認されたのは4回目ですが、なんと平成16年以来となる大規模な発生となりました。これは、雨が少なかったことと天気の良い日が多かったため、アオコが発生しやすい環境が整ったためと考えられます。



アオコ発生前（6月12日撮影） アオコ最盛期（8月15日撮影） アオコが発生したダムの水

アオコとは…

『水の華』とも呼ばれ、湖やダム湖などの淡水域において浮遊性（水面に浮きやすい）の藻類（植物性プランクトン）が異常に増え、水の色が変化する現象のことを言います。発生した植物性プランクトンが貯水池の水面付近に集まり、「緑青色の膜」や「抹茶」をまいたようになることから『アオコ（青粉）』と呼ばれています。

※ダム貯水池の水環境Q&Aなぜなぜおもしろ読本（山海堂発行）から一部抜粋
上の写真では貯水池の色は黄色く見えますが、貯水池の水を取ると右上の写真のように黄緑色をしています。



水産技術センター撮影
アオコの顕微鏡写真（7月9日撮影）

浜田公民館で浜田ダムと第二浜田ダムについてお話ししました

7月25日に浜田公民館で開催されました『浜田地区民生・福祉合同研修会』において、「浜田ダムの管理（浜田ダム管理所）」と「第二浜田ダムの建設（浜田河川総合開発事務所）」についてお話ししました。

浜田ダムの管理についてはダムの役割を中心に、第二浜田ダムについては新しいダムの建設と現在ある浜田ダムの再開発、そして今の工事の進み具合などをお話しさせていただきました。

第二浜田ダムの建設は今年から本格的に工事が始まり、皆さん熱心に聞いておられました。



浜田ダムの役割について説明

編集後記

浜田ダムだより第8号を発行しました。第二浜田ダムの建設が進み、7月から県道が通行止めになったため今年は浜田ダムに来られる方が少なかったように思えます。浜田ダムでは施設の見学や出前講座の開催などについていつでも受け付けております。説明や出前講座の開催をご希望の方は浜田ダム管理所までお気軽にご連絡下さい。

【発行】浜田県土整備事務所 浜田ダム管理所（担当：河上）TEL (0855) 22-0136
FAX (0855) 22-5176

バックナンバー：http://www.pref.shimane.lg.jp/hamada_kendo/syoukai/dam.html
（浜田県土整備事務所のページ→事業紹介→ダムを選択するとPDF形式でご覧になれます。）

浜田ダム周辺の様子

漁民の森

豊かな漁場を守るため、漁業者が木を植え育てる活動をしてられます。県内では浜田市の他に西ノ島町や出雲市、大田市でも同様の活動が行われています。



浜田ダム周辺は地元の長見自治会のご協力での桜の植樹・保全、また県道の清掃作業を行っていただいています。



★ダム周辺の紅葉

H20年は11月上旬頃から色付き始めました。



市道沿いの紅葉



県道沿いの紅葉した樹木



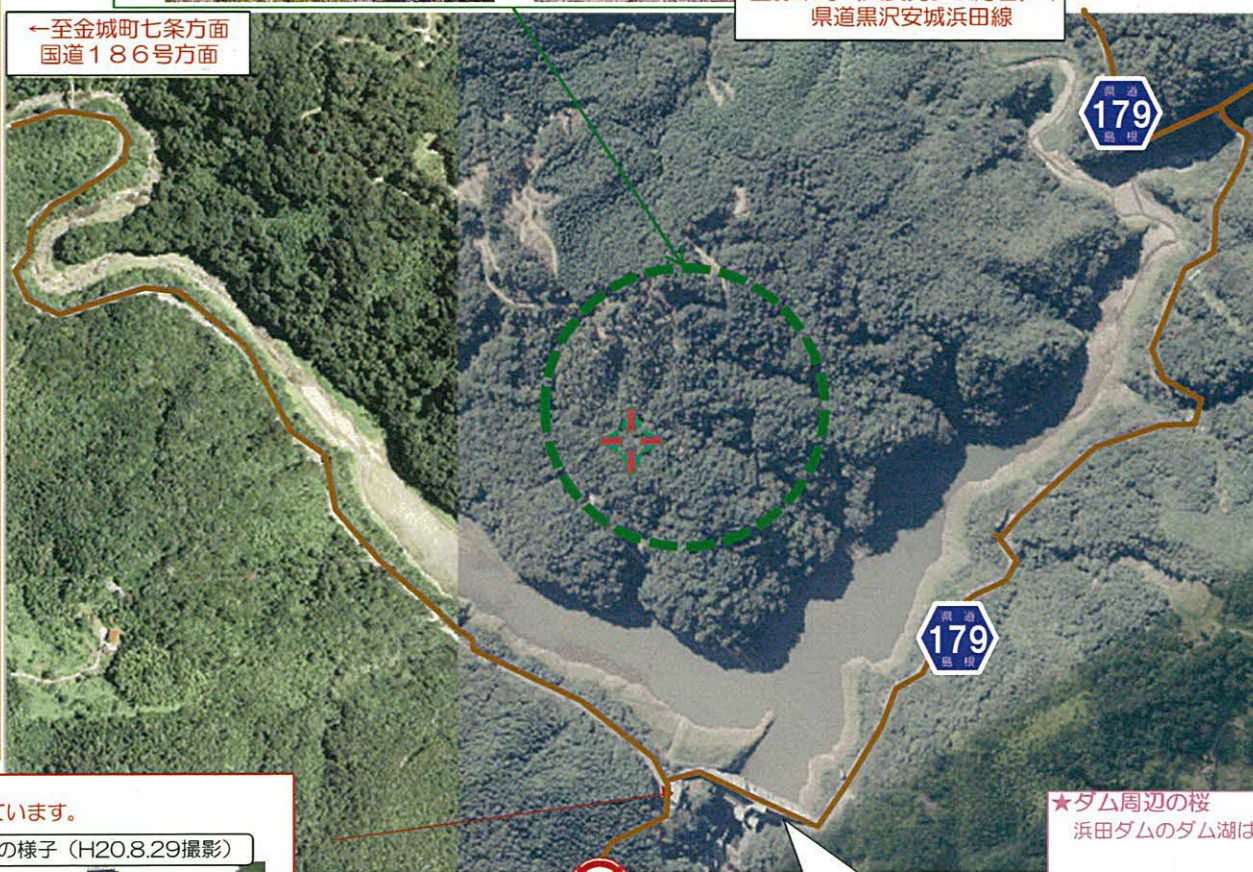
管理所そばのいちよう



←至金城町七条方面
国道186号方面

至弥栄町（大長見ダム方面）↑
県道黒沢安城浜田線

至浜田市街→
河内町方面う回路



★渡り鳥の飛来

マガンやオシドリが毎年11月頃貯水池にやってきます。多い時には100羽近くいました。

貯水池で羽を伸ばすマガン



右奥に見えるのはオシドリです



★ダム周辺の桜

浜田ダムのダム湖は「桜湖」と名付けられています。



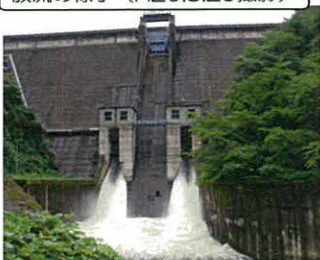
★浜田ダム管理所

ダムの点検・洪水調節など施設の管理を行っています。

管理所の外観



放流の様子（H20.8.29撮影）



この先

浜田ダムはここ！！

↓至浜田市河内町方面
ただし第二浜田ダムの工事により今は通行止め